

Graduation Policy (GP)	
記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	教育学部
学科・専攻等名	学校教育教員養成課程
コース等名	教科教育コース社会科教育選修
細分名	
教育学部の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>学校教育および社会のさまざまな分野において教育の素養をもって貢献できる人材の養成を目的とする。</p>	
教育学部の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．人間と教育に関わる事象を、問題意識をもって思考、調査、分析することができる。 2．自らの思考、調査、分析の結果を適切な方法で表現することができる。 3．自らの専門において習得した知識や能力を、実践に活用することができる。 	
学校教育教員養成課程の教育目的	
<p>子どもを愛し教育および教職に対する責務を深く自覚することを基礎として、児童・生徒の生活指導から教科指導に渡る幅広い能力を持った人材を養成する。また、教職を目指すものとして、自らの生き方について謙虚に反省できる人材を養成する。</p>	
学校教育教員養成課程の Graduation Policy（具体的に記述・箇条書き）	
<ol style="list-style-type: none"> 1．教育の理念や教職の意義を理解し、広い視野から自己の将来のあり方を展望することができる。 2．児童・生徒の心身の発達段階や教育方法・技術の基礎を理解修得し、発達段階に応じた指導をすることができる。 3．道徳・特別活動・生徒指導に関する教育方法を修得し、児童・生徒の生活全般に渡る指導を行うことができる。 4．参観・参加実習、介護等体験実習、基本実習、委託実習および事前・事後指導の経験を通して教育現場における指導全般を実践的に理解・体得し、現場での適切な指導を行うことができる。 	
教科教育コース社会科教育選修の教育目的（具体的に記述・箇条書き）	
<p>社会科各分野の学習と人間（思想）・社会を探究する学的な経験を通して、社会に関する理解を深め、社会のあるべき姿を相対的に捉えることのできる学生を育て、学校現場で人間味豊かな指導力を発揮できる人材を養成する。</p>	

教科教育コース社会科教育選修の Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

- 1 . 初等教育および中等教育の社会科各領域(地理、歴史、公民)の指導法を理解し、児童・生徒の成長過程に合わせて授業を展開できる。
- 2 . 人間存在・社会についての深い関心と理解を基礎に、さまざまな社会の動きを構造化、相対化でき、社会のあるべき姿を生徒・児童とともに考え、探ることができる。
- 3 . 社会科の各領域の基礎的な研究手法を、社会で生ずる様々な問題に即して柔軟に適用し、コンピュータも活用しながら、児童・生徒とともに調査活動を行うことができる。
- 4 . 課題研究、卒業論文作成等を通して、自ら設定した人間社会に関する課題について、既往の文献を批判的に検討し、具体的な資料に基づいて論理的な文章を構成し、かつ説得力のある議論を展開できる。